

| | | | |
|-------------|--|-----|-----|
| ふりがな 氏 名 | とみた りえ 富田 理恵 | 職 名 | 准教授 |
| 取得学位 | 文学修士・早稲田大学大学院文学研究科修士課程 M.Litt・英国セント・アンドルーズ大学 スコットランド史学科 | | |
| 学歴 | 早稲田大学文学研究科博士後期課程単位習得、退学 | | |
| 所属学会 | 日本西洋史学会、日本イギリス哲学会、日本ピューリタニズム学会、キリスト教史学会、日本カレドニア学会 | | |

教 育 活 動

(主な担当科目)

2019年：英米の言語と文化 海外実践 歴史学 人間の歴史
 2018年：英米の言語と文化 海外実践 歴史学 人間の歴史
 2017年：海外実践 歴史学 人間の歴史 異文化理解
 2016年：海外実践 歴史学 人間の歴史
 2015年まで：西洋史概論 歴史学 人間の歴史

研 究 活 動

著書

- ・岩波書店辞典編集部編『世界の名前』
(担当:分担執筆, 範囲:ドナルドの息子、マクドナルド, 104-106頁) 岩波書店 2016年3月
- ・『スコットランドを知るための65章』
(担当:共著, 範囲:キリスト教の諸宗派 pp. 28-32) 明石書店 2015年9月
- ・岩井淳編 『複合国家イギリスの社会変動と宗教』
(担当:共著, 範囲:ブリテンの国制構想とスコットランド・イングランド- 一六四七年の転換 pp. 83-114.) ミネルヴァ書房 2012年7月
- ・木畑洋一 秋田茂編 『近代イギリスの歴史』
(担当:共著, 範囲:「『権利の要求』とスコットランド近現代」 293-308頁)
ミネルヴァ書房 2011年3月
- ・近藤和彦編 『イギリス史研究入門』
(担当:分担執筆, 範囲:「スコットランドとウェールズ」 pp. 180-203. (pp. 180-199を富田理恵単独執筆)) 山川出版社 2010年10月



受け継がれる、源とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

論文

- ・万人司祭の原理とスコットランド近世史
思想 (1122) 84-102 2017年10月[招待有り]
- ・祈禱書の反乱 三王国戦争の発火点
ピューリタニズム研究 (10) 22-28 2016年3月 [招待有り]
- ・歴史の岐路に立つ2014年スコットランド独立投票
日本歴史学協会年報 (30) 51-58 2015年6月 [招待有り]
- ・スコットランド問題 その経緯と背景
歴史学研究 (932) 55-59 2015年6月 [招待有り]
- ・特集 スコットランドとイングランド 1707年の議会合同までのスコットランドの諸制度とイングランド
Caledonia (14) 1-6 2014年9月 [招待有り]
- ・グラスゴー教会総会と第一次主教戦争の地方史
東海学院大学紀要 (6) 241-254 2013年3月
- ・第一次主教戦争停戦から1640年スコットランド議会開催まで 東海学院大学論叢 (神谷哲郎先生追悼号) 50-67 2013年3月
- ・イングランドとの関係ー近世を中心に冷戦終結までー Caledonia (12) 1-6 2012年10月 [招待有り]
- ・祈禱書の反乱と国民契約の地方史 東海学院大学紀要 (第5号) 223-237 2012年3月

研究発表

- ・万人司祭の原理とスコットランド近世史
日本カレドニア学会研究会 2018年1月20日
- ・祈禱書の反乱ー三王国戦争の発火点ー [招待有り]
第10回日本ピューリタニズム学会研究大会 スコットランドとピューリタニズムー宗教・合同・近代日本ー 2015年6月20日
- ・ヘクターの国内植民地論：スコットランド史の観点から [招待有り]
国内植民地の比較史 主催：科学研究費補助金（基盤研究A）「比較植民地史：近代帝国の周縁地域・植民地統治と相互認識の比較研究」（研究代表：宇山智彦） 2015年2月21日
- ・歴史の岐路に立つ2014年スコットランド独立投票 [招待有り]
日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会 2014年10月25日
- ・1637年の暴動後の状況を地方文書から見る Reformation Studies Colloquium 2014 2014年9月8日
- ・スコットランド研究の立場から [招待有り]
カタルーニャを多元的に考える 独立をめぐる想像力とリアリティ 2014年3月20日
- ・祈禱書の反乱と国民契約の地方史
Reformation Studies Colloquium 2012 2012年9月6日



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

その他

- ・書評 Sharon Adams & Julian Goodare, eds., *Scotland in the Age of Two Revolutions*, Woodbridge, Boydell Press, 2014, ix+247p.
- ピューリタニズム研究 (12) 72-73 2018年3月 [依頼有り]
- ・書評 小林麻衣子著『君主の鑑 近代スコットランドの王権』 史学雑誌 125編4号 88-93頁
2016年4月
- ・書評 岩井淳著『ピューリタン革命の世界史—国際関係のなかの千年王国』
イギリス哲学研究 (39) 83-84 2016年3月 [依頼有り]
- ・書評 田中秀夫著『スコットランド啓蒙とは何か—近代社会の原理—』
西洋史学 (256) 82-84 2015年3月 [依頼有り]
- ・スコットランド独立投票について
イギリス哲学研究 (日本イギリス哲学会 発行) (28) 101-102 2015年3月 [依頼有り]
- ・エッセイ 私に届いた人頭税請求書
神奈川大学評論 (79) 138-141 2014年11月 [依頼有り]
- ・イギリス文化事典 項目執筆 スコットランド：宗教改革と教会 歴史：1707年の両王国議会の合同
- ・イギリス文化事典 504, 600-505, 601 2014年11月 [依頼有り]
- ・研究ノート 英語スピーチコンテストのための指導 『東海学院大学論叢』
神谷哲郎先生追悼号 2013年3月 41-49.
- ・書評 指昭博『イギリス宗教改革の光と影』 ミネルヴァ書房 2010年
『イギリス哲学研究』(日本イギリス哲学会発行) (第35号) 95-97 2012年3月 [依頼有り]
- ・書評 山本信太郎『イングランド宗教改革の社会史』
『イギリス哲学研究』 (第33号) 125-127 2010年3月 [依頼有り]

社会活動

- ・日本イギリス哲学会理事
- ・日本ピューリタニズム学会常任理事



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY